

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.10.25 No. 180 連絡先 FAX 042-555-1911



横田基地所属C-130輸送機 10機で編隊飛行訓練 UH-1Nヘリも4機で

10月22日（午前6時～午後10時）、横田基地でC130輸送機が最大9機（あとで17機に変更）で編隊飛行をするとの情報提供が自治体がありました。しかし当日、横田基地には10機のC130が並んでいるだけ。午後、誘導路に一直線に並んだ10機のC-130はエンジンを吹かし爆音を轟かせていましたが、2時半ごろ、次々滑走路に進み、南に向かって離陸しました。7号機、8号機、9号機が走り出すも離陸しませんでした。その後北に向かって離陸しました。

その後6号機と10号機は横田に戻ってきて、暗くなるまで旋回やタッチアンドゴー訓練等をしていました。他の8機は、編隊飛行でどこに行ったのでしょうか。よくわかりません。



横田基地所属のUH-1Nヘリが4機とも出動し、編隊飛行訓練を行いました。

第55回 横田撤去座り込み 雨の中 塩川鉄也衆議院議員が参加



塩川議員は「北関東防衛局から自治体への訓練事前通知が、埼玉県内の自治体にも広がっており、その背景には住民運動の働きかけがある。群馬県内の首長らと懇談したときに、”事前通知を要望したい”との回答があった。

いずれの場合も、横田周辺自治体が米軍と国に対し、訓練情報の提供を求めてきたことが首都圏全域に広がる出発点になっており、その背景には住民運動がある。」と話されました。埼玉県では、県と4市（入間、飯能、狭山、日高）に情報提供され、埼玉県基地対策協議会に参加する14市町村には県が通知メールを転送しているそうです。（写真：第55回横田基地撤去の座り込み行動）

村には県が通知メールを転送しているそうです。（写真：第55回横田基地撤去の座り込み行動）

MV 22 オスプレイがパラシュート降下訓練をした 伊江島に行く ①



今から40年以上も前、映画「沖縄」で、戦後、米軍により家も土地も奪われた伊江島の人々のたたかい、そして阿波根昌鴻さんを知りました。

横田基地では昨年からはパラシュート降下訓練が大規模に行われていますが、沖縄では伊江島でパラシュート降下訓練がずっと行われています。

5月1日～3日、オスプレイからのパラシュート降下訓練が沖縄で初めて伊江島で行われたという報道に驚き、伊江島行きを決め、10月に決行しました。26号台風の影響で、伊江島に行くのが1日遅れましたが、無事訪れることができました。

写真は伊江村提供。オスプレイから8名の兵士がパラシュートで降下しています。（MT 続く）

滋賀 オスプレイ 日米訓練強行 台風の中 市街地上空を飛ぶ (No.180 の裏面)

米海兵隊の垂直離着陸機 MV22 オスプレイが参加する国内初の日米共同訓練が 16 日、台風 26 号の影響による強風と大雨の中、滋賀県高島市の饗庭野（あいばの）演習場で強行されました。

オスプレイ 2 機は午前 10 時すぎに演習場に到着。米海兵隊員や陸上自衛隊員ら約 40 人がオスプレイに乗り込んで移動し、敵陣地に降下・侵入するヘリボン訓練を実演しました。

オスプレイ 2 機は、市街地上空を避けて飛ぶよう求める地元の意向を無視し、高島市役所上空など市街地上空を通過してヘリモードで南東側から演習場に進入するようすが市民により目撃されました。訓練中も、演習場から南に 2 キロほど離れた安曇川（あどがわ）町上空を“場外飛行”していたことが目撃されました。

周辺で住民らの監視行動が取り組まれ、抗議の意思を示しました。

会場いっぱいにおスプレイ NO！ 10・12 市民交流集会 パート 2



10 月 12 日の「第 4 回 横田基地もいらない！市民交流集会」の午後の記念講演の参加者は 950 名で、過去最高でした。参加者一同で「オスプレイの横田基地、日本全土への配備・訓練を許さず、辺野古への新基地建設阻止のため、名護市長選挙で稲嶺再選を勝ち取ろう」と決議しました。

会場いっぱいの参加者が「オスプレイ NO！」の紙を掲げ、アピールしました。（左の写真）



第 5 ゲートの奥右の写真（左）を知人が送ってくれました。

この車は航空自衛隊横田基地の軽装甲機動車です。車止めがあり、機関銃なし、隊員は乗車していない模様でした。車両には横基・防指とロゴ有りです。基地警備用の車両です。後ろにも逆を向いている車両があり、2 両駐車です。1 両はいつもいるのですが…。

横田基地の中からデモの写真を撮る自衛隊員もいました。

自公 秘密保護法案了承 25日に閣議決定 情勢緊迫 法案に反対を！

自民、公明両党は 22 日の政策責任者会議で、軍事・外交など国政の重要問題で、情報を統制し、国家公務員らへの罰則を強化する「秘密保護法案」を了承しました。政府は同法案を 25 日に閣議決定、国会に提出します。法案は、「行政機関の長」が「我が国の安全保障にとって著しく支障を与える恐れがある」と判断すれば、いくらでも「特定秘密」を指定できる仕組みです。

自衛隊法の「防衛秘密」の運用状況をみると、大臣指定 39 → 234 件と秘密の数がこの 10 年間で 6 倍と年を追って増え、“秘密が何かも秘密”という危険な実態です。

行政機関が「特定秘密」とする情報を職員が漏らしたり、知ろうとする行為を最高で懲役 10 年の厳罰で取り締まる法案です。秘密は戦争への道。「秘密保護法案」に反対しましょう。

核不使用声明に125 カ国 国連軍縮委 日本政府が初参加

ニューヨークの国連総会第 1 委員会（軍縮）で 21 日、核兵器の不使用と廃絶への決意を宣言する「核兵器の人道上的影響に関する共同声明」が発表され、125 カ国が参加しました。これまで同種の声明は米国の「核抑止力」に頼る自国の安全保障政策と一致しないと拒否していた日本も、初めて参加しました。声明はニュージーランドが主導。核兵器の非人道性を懸念し、「いかなる状況下でも核兵器が二度と使用されないことが人類生存の利益」だとしています。